

同一建物同一日の訪問診療等の 適正化による影響調査(速報案)

<主な調査結果(抜粋)>

調査の概要について①

目的

○ 平成26年度診療報酬改定において、在宅医療を担う医療機関の確保と質の高い在宅医療を推進するため、保険診療の運用上、不適切と考えられる事例への対策を進める観点から、訪問診療、歯科訪問診療、訪問看護及び在宅薬剤管理指導業務に対する評価について見直しが行われた。これを踏まえ、在宅医療等の実施状況について調査を行う。

- ・同一建物における同一日の複数訪問の訪問診療、訪問看護の実施状況の把握
- ・上記の対象患者像の把握
- ・同一建物における同一日の複数訪問の歯科訪問診療の実施状況の把握
- ・同一建物における同一日の複数訪問の在宅患者訪問薬剤管理指導の実施状況の把握
- ・集合住宅等における医師の確保状況の把握

調査方法

- 対象施設の開設者・管理者が記入する自記式調査票の郵送配布・回収とした。
- 調査票は無記名式とした。
- 調査回答期限後、督促を実施した。

調査の概要について②

調査の対象及び回収結果

- 本調査では、「医科医療機関調査」「訪問看護調査」「歯科医療機関調査」「保険薬局調査」「集合住宅調査」の5つの調査を実施した。

対象施設		合計 施設数	有効回答数		有効 回答率
医科医療機関 調査	①在宅療養支援診療所;1,500施設	2,500	施設調査	755(施設)	30.2%
	②在宅療養支援病院;500施設		日計票	5,541(人)	
	③在宅時医学総合管理料等の届出診療所; 500施設		患者調査	1,569(人)	
訪問看護調査	①機能強化型訪問看護管理療養費・訪問看護 基本療養費Ⅱ・精神科訪問看護基本療 養費Ⅲの届出訪問看護ステーション; 1,000事業所	2,000	施設調査	920(施設)	46.0%
	②在宅患者訪問看護・指導料、精神科訪問看 護・指導料の算定病院;1,000施設		日計票	6,886(人)	
	患者調査		1,708(人)		
歯科医療機関 調査	○在宅療養支援歯科診療所の届出診療所; 2,000施設	2,000	1,106(施設)		55.3%
保険薬局調査	○在宅患者調剤加算の届出保険薬局;1,000 施設	1,000	601(施設)		60.1%
集合住宅調査	①サービス付き高齢者向け住宅;500施設 ②有料老人ホーム;500施設 ③養護老人ホーム・軽費老人ホーム;500施設 ④認知症高齢者グループホーム;500施設	2,000	792(施設)		39.6%

医科医療機関調査の結果①

<訪問診療の実施状況①(報告書p25、p27)>

○ 訪問診療を行っている居宅・施設数、患者数の平均は、診療所・病院の別を問わず概ね同等又はやや増加していた。

訪問診療を行っている居宅・施設数	対象施設	平成26年3月			平成26年7月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
1) 1人しか訪問診療の対象患者がいない居宅・居住施設	診療所	12.6	25.7	3.0	13.3	27.3	4.0
	病院	17.3	30.8	6.5	18.2	31.2	7.0
2) 2人以上訪問診療の対象患者がいる特定施設等	診療所	0.5	1.2	0.0	0.5	1.2	0.0
	病院	0.7	1.6	0.0	0.8	1.6	0.0
3) 2人以上訪問診療の対象患者がいるその他の居住施設	診療所	1.4	4.3	0.0	1.5	5.0	0.0
	病院	1.5	3.2	0.0	1.4	2.4	0.0
合計	診療所(n=559)	14.5	27.7	5.0	15.2	29.4	5.0
	病院(n=146)	19.4	31.9	9.0	20.4	32.5	9.0

訪問診療を行っている患者数	対象施設	平成26年3月			平成26年7月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
1) 1人しか訪問診療の対象患者がいない居宅・居住施設	診療所	12.6	25.7	3.0	13.3	27.3	4.0
	病院	17.3	30.8	6.3	18.2	31.2	7.0
2) 2人以上訪問診療の対象患者がいる特定施設等	診療所	10.3	36.9	0.0	10.4	39.4	0.0
	病院	13.8	56.0	0.0	16.2	60.0	0.0
3) 2人以上訪問診療の対象患者がいるその他の居住施設	診療所	13.3	42.7	0.0	13.1	42.6	0.0
	病院	10.5	18.9	0.0	12.7	22.7	0.0
合計	診療所(n=559)	36.2	73.6	11.0	36.9	75.1	12.0
	病院(n=146)	41.6	66.2	25.0	47.1	71.2	27.5

医科医療機関調査の結果②

<訪問診療の実施状況② (報告書p30)>

○ 居宅・施設への訪問回数の平均は、診療所・病院の別を問わず増加していた。

(単位:回)

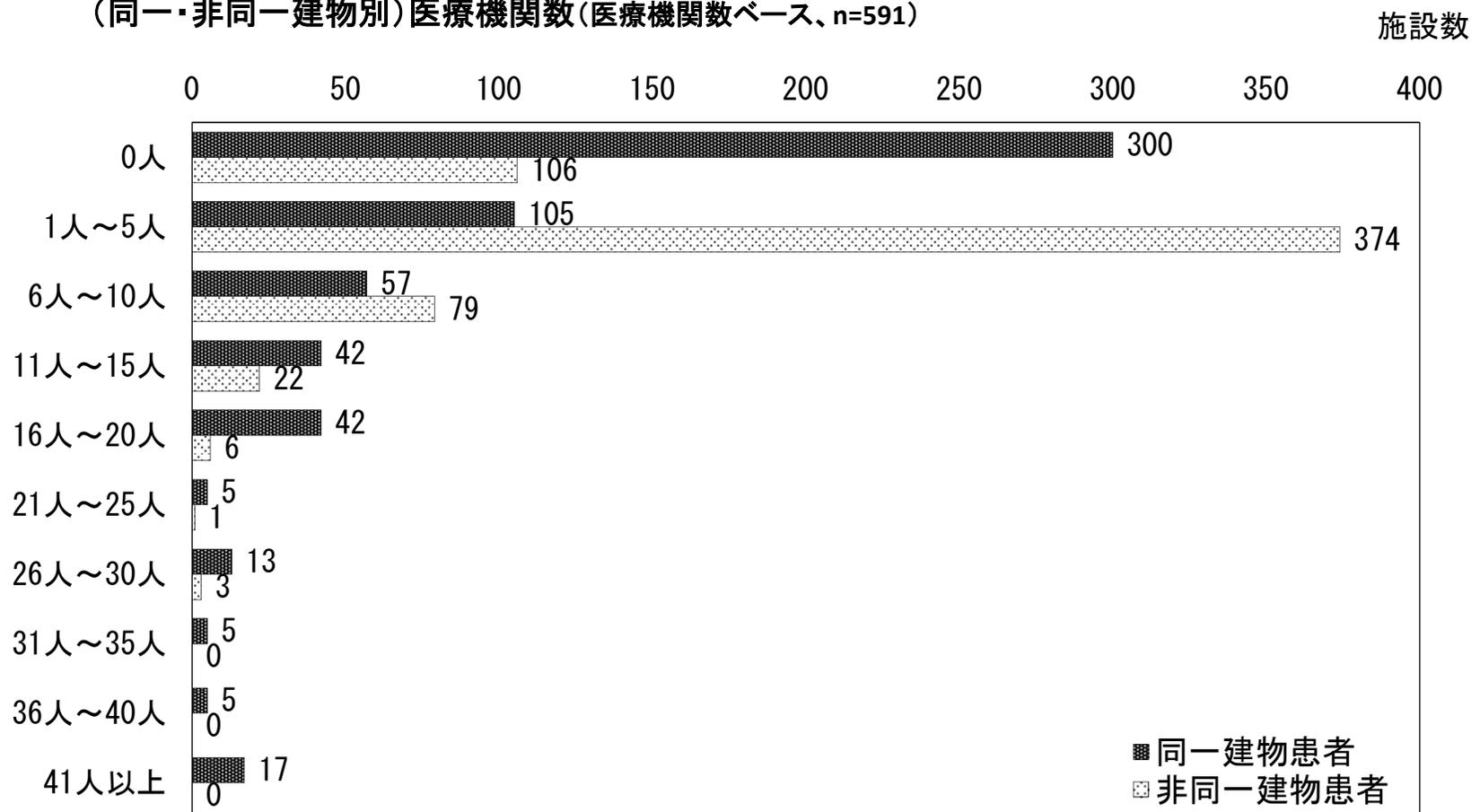
居宅・施設への訪問回数	対象施設	平成26年3月			平成26年7月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
1) 1人しか訪問診療の対象患者がいない居宅・居住施設	診療所	22.7	51.7	4.0	29.4	63.0	8.0
	病院	27.7	84.4	6.0	35.1	88.1	10.0
2) 2人以上訪問診療の対象患者がいる特定施設等	診療所	2.5	9.2	0.0	3.9	14.7	0.0
	病院	6.0	50.0	0.0	8.7	55.2	0.0
3) 2人以上訪問診療の対象患者がいるその他の居住施設	診療所	4.5	12.6	0.0	7.4	22.5	0.0
	病院	4.6	10.9	0.0	7.5	19.7	0.0
合計	診療所 (n=545)	29.7	58.4	9.0	40.7	77.7	13.0
	病院(n=143)	38.3	100.9	11.0	51.3	115.2	21.0

医科医療機関調査の結果③

< 医師による1日の訪問診療人数(報告書p36) >

- 2週間の調査期間のうち、訪問診療を行った患者数が最も多かった1日において、医師1名が診療を行った患者数は、同一建物の患者は0人、非同一建物の患者は1人～5人の医療機関が最も多かった。
- 一方、一部_(17/591施設)に同一建物患者を41人以上診療している医療機関が存在した。

調査対象となった医師1名の1日の訪問診療患者数別
(同一・非同一建物別)医療機関数(医療機関数ベース、n=591)

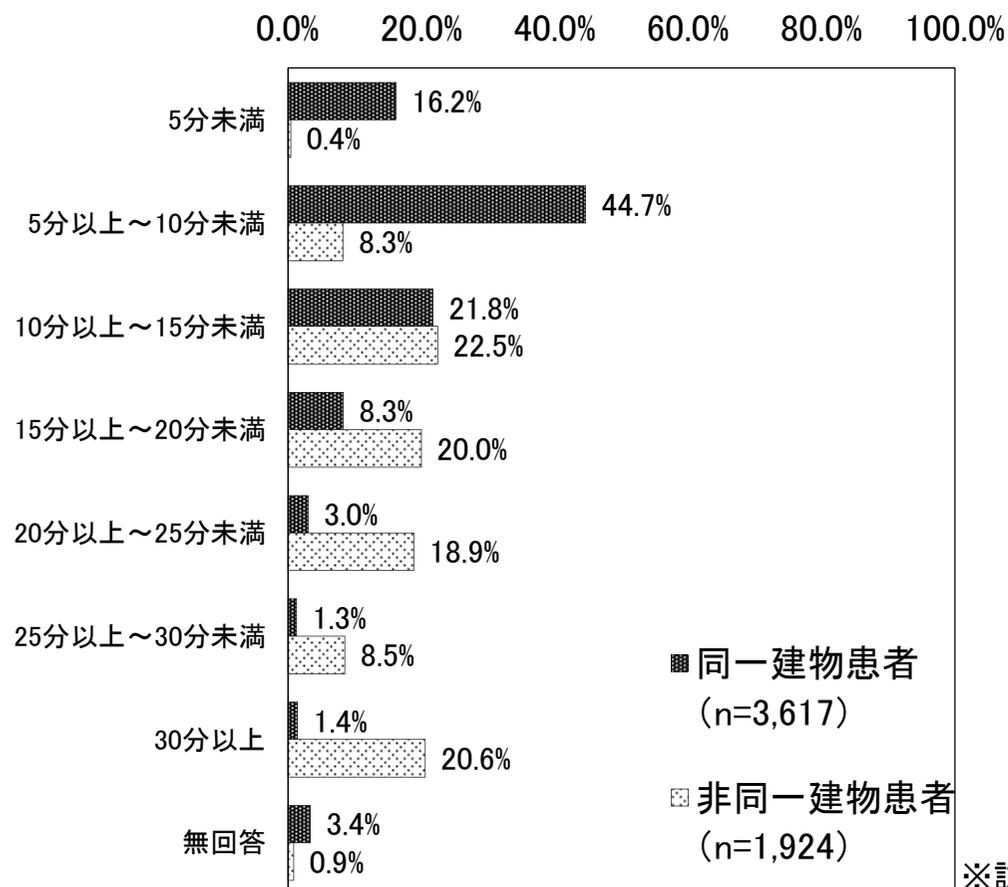


医科医療機関調査の結果④

<患者1人当たりの診療時間(報告書p37)>

○ 患者一人当たりの訪問診療時間の中央値は、同一建物患者で7.5分、非同一建物の患者で19.0分であった。

患者1人あたりの訪問診療時の診療時間
(患者数ベース)



患者1人あたりの訪問診療の診療時間
(患者数ベース)

(単位:分)

	平均値	標準偏差	中央値
全体 (n=5,402)	13.7	12.5	10.0
同一建物患者 (n=3,495)	9.2	6.4	7.5
非同一建物患者 (n=1,907)	21.9	16.2	19.0

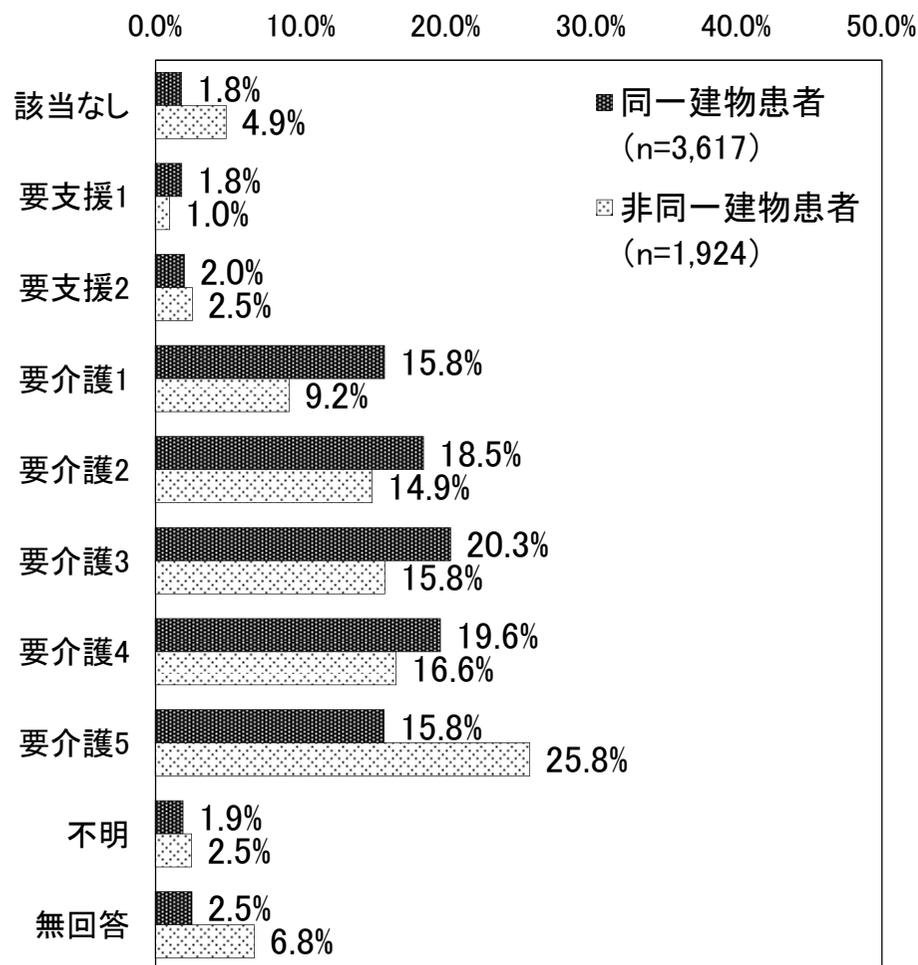
※訪問診療時間に、移動時間は含まれていない。

医科医療機関調査の結果⑤

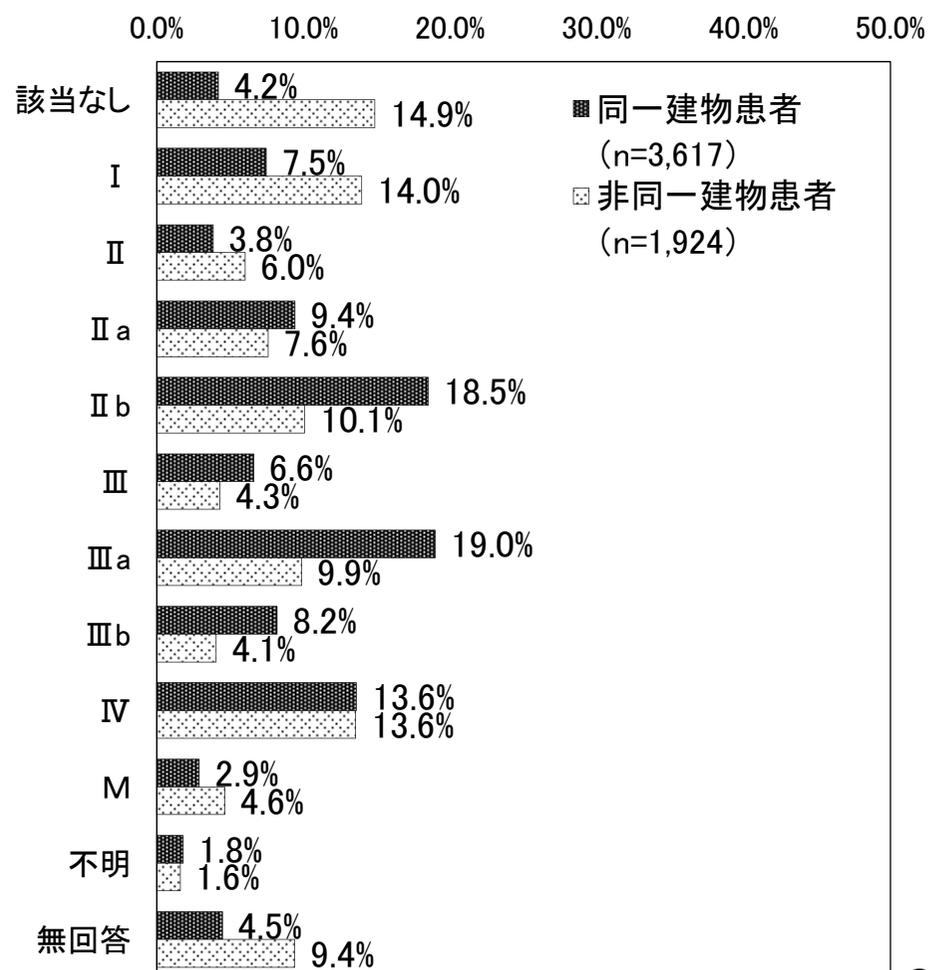
<訪問診療を利用した患者の状況(報告書p38、p39)>

- 患者の要介護度については、非同一建物の患者において要介護5の患者が多くみられた。
- 認知症高齢者の日常生活自立度については、同一建物の患者においてランクⅡ～Ⅲの患者が多くみられた。

要介護度(患者数ベース)



認知症高齢者の日常生活自立度(患者数ベース)

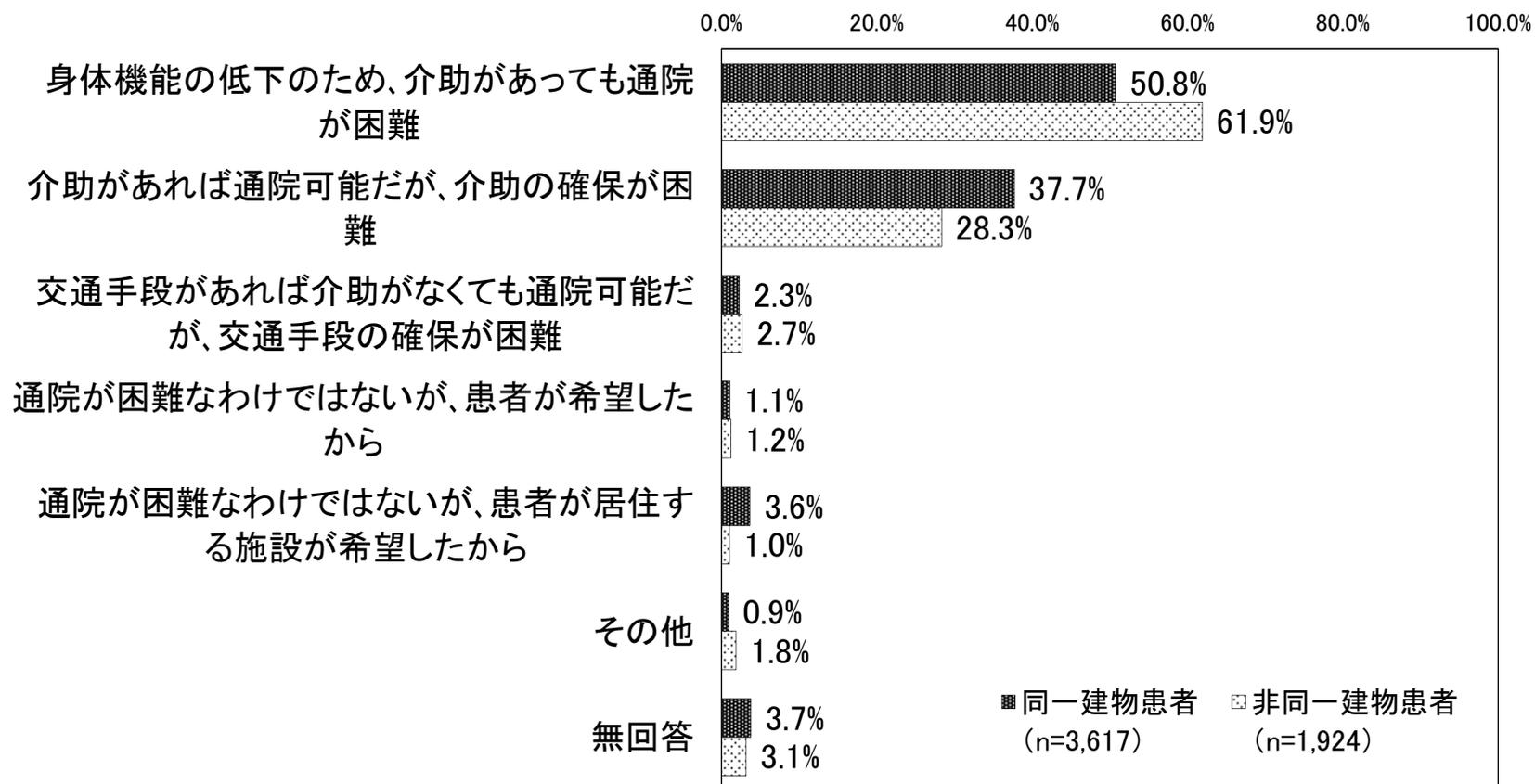


医科医療機関調査の結果⑥

<訪問診療を行っている理由(報告書p40)>

- 「身体機能の低下のため、介助があっても通院が困難」な患者は同一建物の患者で50.8%、非同一建物の患者で61.9%であった。
- 一方、
 - ・「介助があれば通院可能だが、介助の確保が困難」な患者は同一建物の患者では37.7%、非同一建物の患者で28.3%
 - ・「通院が困難な訳ではないが、患者が居住する施設が希望したから」という患者は同一建物の患者で3.6%、非同一建物の患者で1.0%であった。

訪問診療を行っている理由 (患者数ベース、単数回答)

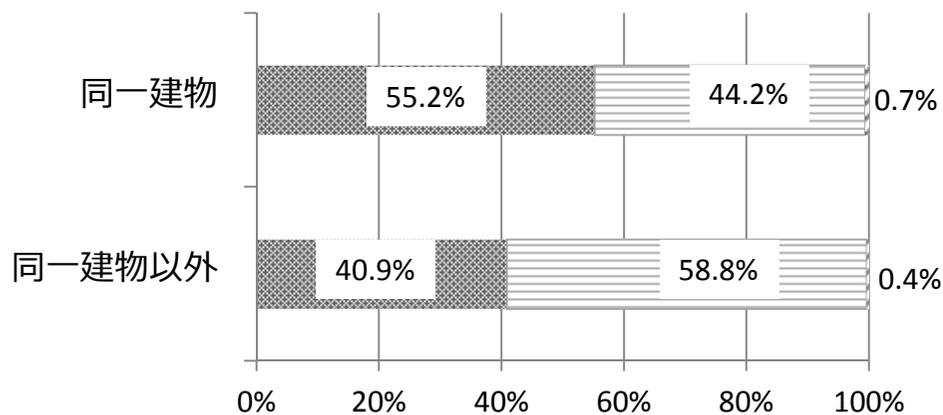


医科医療機関調査の結果⑦

<提供している医療内容(報告書p48、p49)>

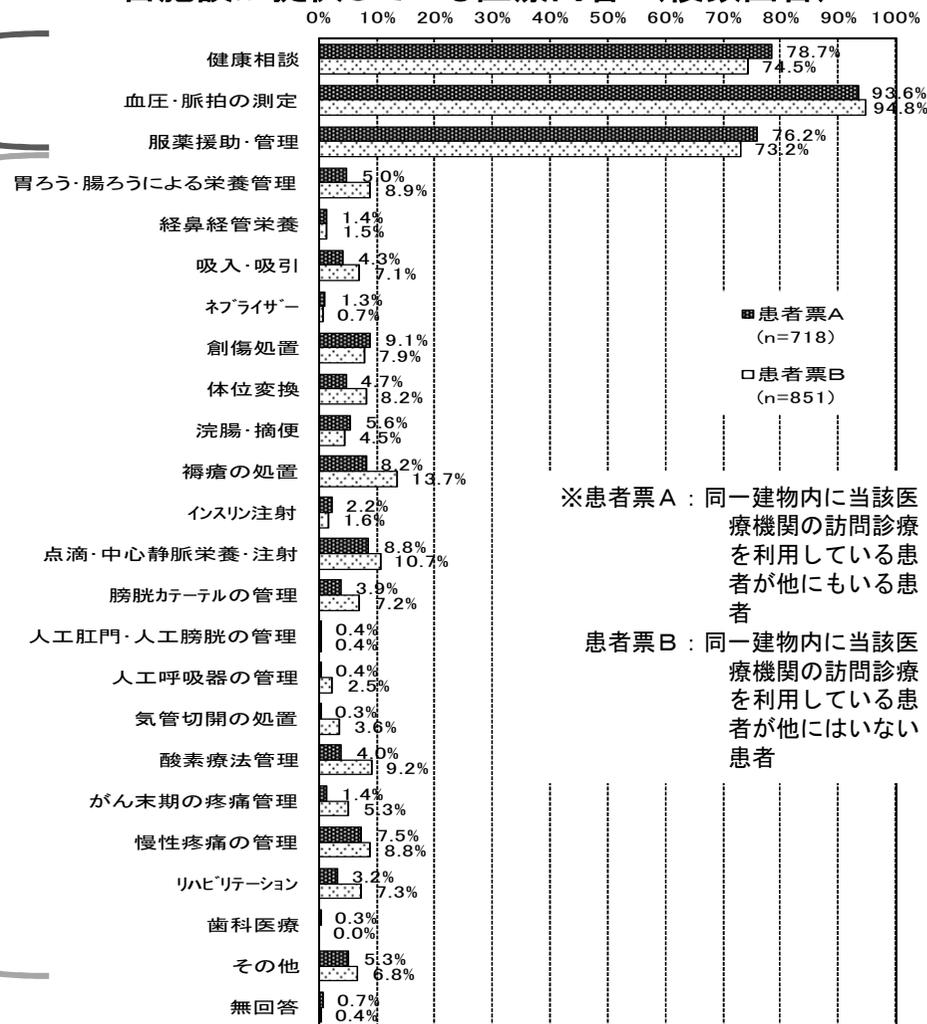
○ 当該患者に提供している医療について、調査項目のうち「健康相談」「血圧・脈拍の測定」「服薬援助・管理」のみに該当する患者は、同一建物において55.2%、同一建物以外において40.9%であった。

提供している医療内容



■ 「健康相談」「血圧・脈拍の測定」「服薬援助・管理」のみのもの
 □ その他の内容を含むもの
 ◊ 無回答

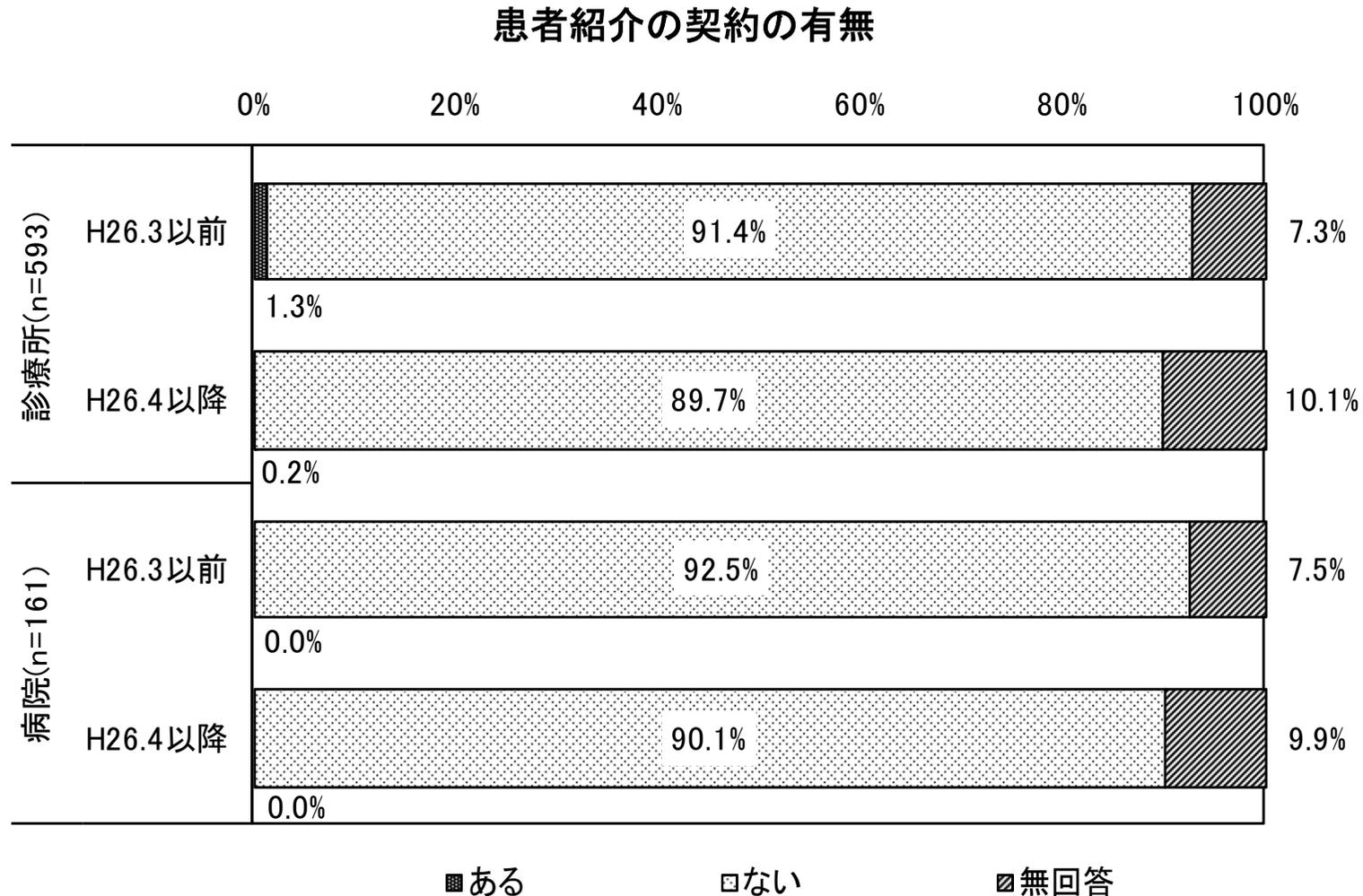
自施設が提供している医療内容 (複数回答)



医科医療機関調査の結果⑧

<患者紹介の契約状況(報告書p64)>

○ 事業者から患者の紹介を受ける対価として、経済上の利益を提供する契約の割合は、診療所において1.3%から0.2%へ減少した。



訪問看護調査の結果①

<訪問看護の実施状況(報告書p73~p75)>

○ 訪問看護の利用者数、訪問回数の平均は、訪問看護ステーション・保険医療機関の別を問わず増加していた。

訪問看護の利用者数	対象施設	平成26年3月			平成26年7月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
1) 利用者数 (医療保険と介護保険の合計)	訪問看護ステーション	74.4	57.9	59.0	78.4	59.2	62.0
	保険医療機関	47.5	45.4	35.5	49.4	46.4	37.0
2) 1)のうち、医療保険の利用者数	訪問看護ステーション	21.4	24.0	15.0	22.9	24.7	16.0
	保険医療機関	27.5	35.8	14.0	28.7	37.2	14.5
3) 2)のうち、医療保険と介護保険の 両方を使用した利用者数	訪問看護ステーション	1.2	2.7	0.0	1.4	2.7	1.0
	保険医療機関	0.6	2.7	0.0	0.7	2.9	0.0
訪問回数(延べ回数)	対象施設	平成26年3月			平成26年7月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
1) 訪問回数 (医療保険と介護保険の合計)	訪問看護ステーション	488.7	587.0	374.0	544.4	577.1	415.0
	保険医療機関	201.3	442.5	120.5	225.5	523.5	134.0
2) 1)のうち、医療保険の訪問回数	訪問看護ステーション	175.5	197.0	123.0	199.2	215.9	144.0
	保険医療機関	94.0	116.2	58.0	105.4	135.0	69.0

訪問看護調査の結果②

<利用者1人当たりの訪問時間(報告書p91)>

○ 訪問看護の利用者1人当たりの訪問時間の平均は、訪問看護ステーション・保険医療機関の別を問わず非同一建物の利用者で長い傾向にあった。

利用者1人あたり訪問時間
【訪問看護ステーションの利用者】
(単位:分)

	利用者数	平均値	標準偏差	中央値
非同一建物利用者	3,818	60.3	21.2	60.0
精神以外	3,406	61.5	21.2	60.0
精神	407	51.0	19.2	60.0
不明	5	58.0	4.5	60.0
同一建物利用者	391	50.6	30.4	45.0
精神以外	307	56.5	31.2	60.0
精神	84	29.4	13.4	30.0
不明	0	-	-	-

利用者1人あたり訪問時間
【保険医療機関の利用者】
(単位:分)

	利用者数	平均値	標準偏差	中央値
非同一建物利用者	1,870	45.4	18.6	40.0
精神以外	725	54.7	19.3	60.0
精神	1,092	39.5	15.5	35.0
無回答	53	40.3	13.5	35.0
同一建物利用者	357	35.7	19.7	31.0
精神以外	35	43.9	16.0	35.0
精神	296	33.2	14.5	30.0
無回答	26	53.7	47.1	38.0

歯科医療機関調査の結果①

＜歯科訪問診療の実施状況(報告書p111、p113)＞

○ 歯科訪問診療の患者総数、歯科訪問診療を行った日数の平均は改定前後で増加していた。

(単位:人)

歯科訪問診療患者総数	平成26年3月			平成26年7月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
1) 歯科訪問診療患者総数	43.5	122.5	6.0	47.6	136.0	6.0
2) うち、同一建物で1人の患者に歯科訪問診療を実施した患者総数	10.8	32.5	2.0	12.5	37.5	2.0
3) うち、同一建物で複数の患者に歯科訪問診療を実施した患者総数	32.7	104.3	0.0	35.1	115.9	0.0

(単位:日)

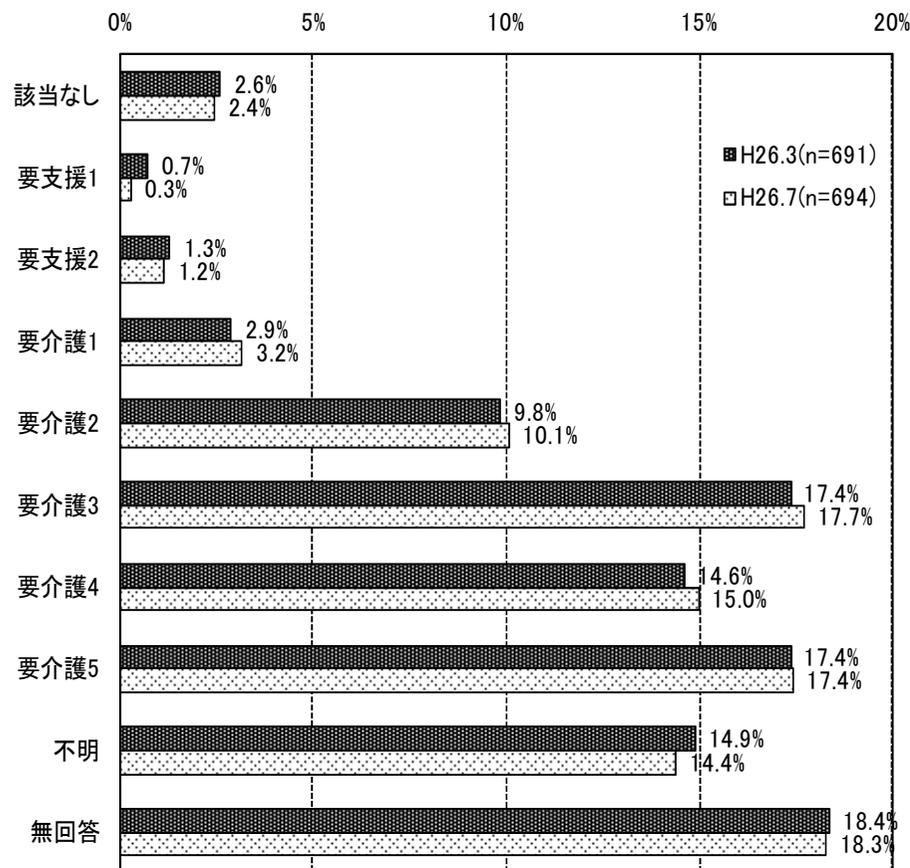
歯科訪問診療を行った日数	平均値	標準偏差	中央値
平成26年3月	8.7	17.3	4.0
平成26年7月	9.3	17.6	5.0

歯科医療機関調査の結果②

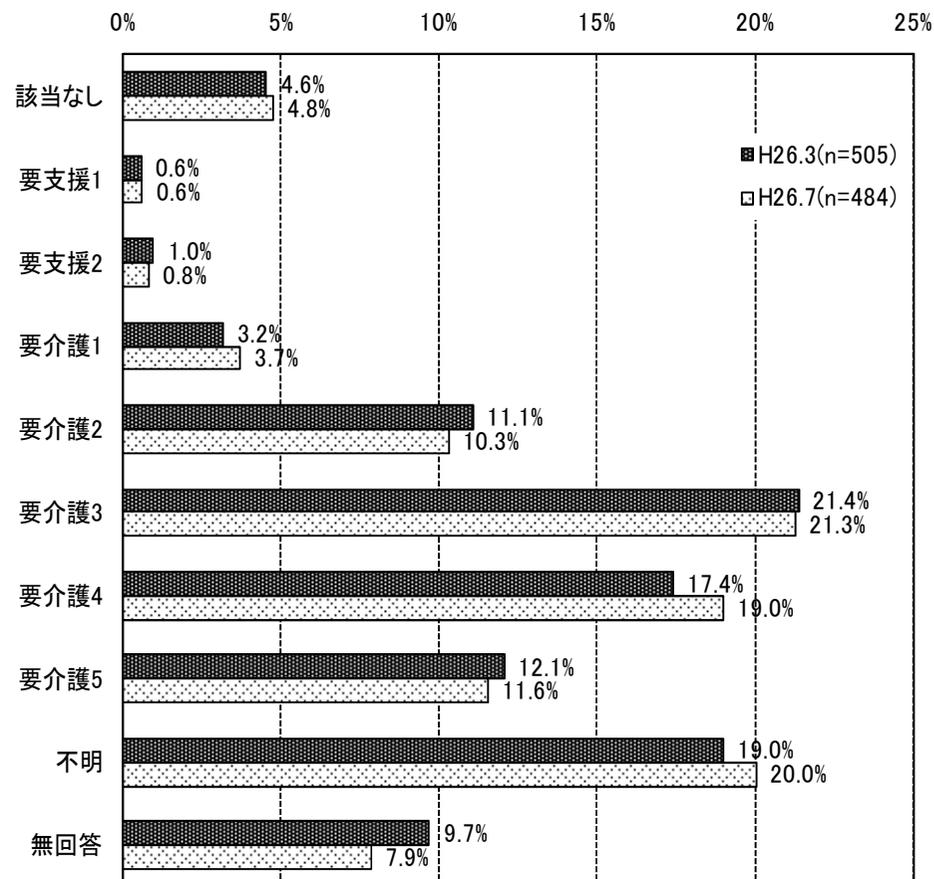
< 歯科訪問診療を利用した患者の状況 (報告書p114、p115) >

○ 要介護度について、同一建物で1人の患者に対して歯科訪問診療を実施した場合において要介護5の患者が多く見られた。

要介護度～同一建物で1人の患者に対して
歯科訪問診療を実施した場合



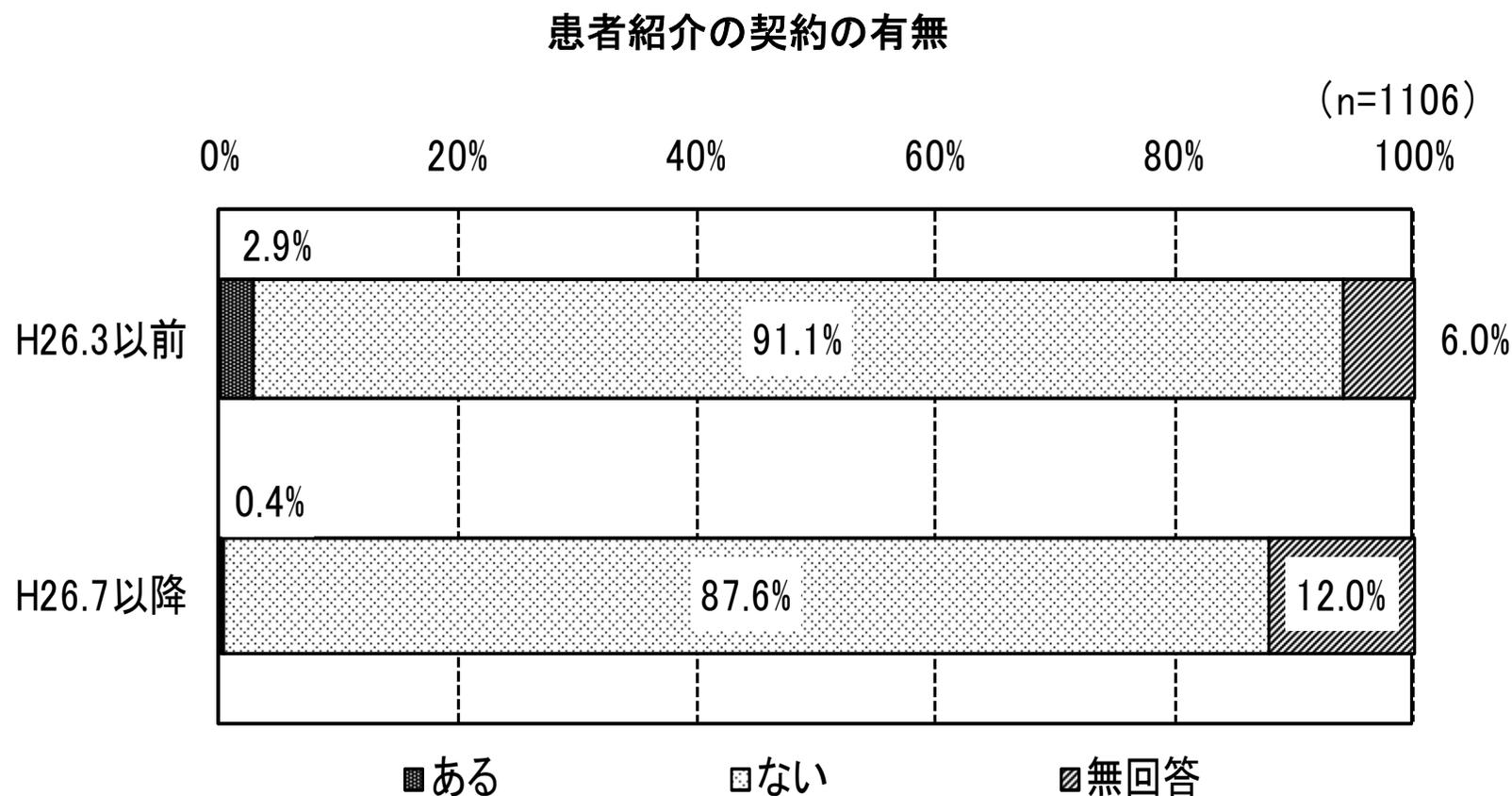
要介護度～同一建物で複数の患者に対して
歯科訪問診療を実施した場合



歯科医療機関調査の結果③

<患者紹介の契約状況(報告書p129)>

○ 事業者から患者の紹介を受ける対価として、経済上の利益を提供する契約の割合は2.9%から0.4%へ減少した。



保険薬局調査の結果

<薬学的管理及び指導の実施状況(報告書p142、p143)>

- 在宅で薬学的管理及び指導を行った総患者数、延べ日数の平均値にほぼ変化はみられなかった。
- 患者1人当たりのベッドサイド業務時間についても、改定前後でほぼ変化はみられなかった。

(単位:人)

薬学的管理及び指導を行った総患者数	平成26年3月(n=564)			平成26年7月(n=564)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
1) 総患者数	31.4	68.2	8.0	31.7	66.3	9.0
2) うち、医療保険の患者数	2.4	7.7	0.0	2.3	7.2	0.0
3) うち、介護保険の患者数	29.0	65.9	8.0	29.4	64.1	8.0

(単位:日)

薬学的管理及び指導を行った延べ日数	平成26年3月(n=458)			平成26年7月(n=455)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
1) 延べ日数	23.3	62.2	7.0	24.1	61.1	8.0
2) うち、医療保険の延べ日数	1.2	3.6	0.0	1.2	3.2	0.0
3) うち、介護保険の延べ日数	22.0	61.3	6.0	22.9	60.1	7.0

(単位:分)

患者1人当たりベッドサイド業務時間	施設数 (件)	平成26年3月			平成26年7月			
		平均値	標準偏差	中央値	施設数 (件)	平均値	標準偏差	中央値
1) 同一建物以外	357	20.7	13.4	15.0	364	20.8	13.7	16.0
2) 同一建物	287	16.7	20.4	10.0	289	17.2	24.3	10.0

集合住宅調査の結果①

<訪問診療の利用状況①(報告書p168、p172)>

- 集合住宅へ訪問診療を行っている医療機関数の平均は、概ね同等であった。
- 訪問診療を利用した入居者数の平均について、軽費老人ホームを除いて大きな減少はみられなかった。

(単位:か所)

訪問診療を行っている医療機関数	平成26年3月			平成26年6月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
サービス付き高齢者向け住宅(n=154/175)	1.4	1.2	1.0	1.7	1.4	1.0
有料老人ホーム(n=150/168)	1.6	1.2	1.0	1.8	1.3	1.5
養護老人ホーム(n=118/139)	1.3	1.0	1.0	1.5	1.1	1.0
軽費老人ホーム(n=68/78)	0.8	1.0	1.0	0.8	1.0	1.0
認知症高齢者グループホーム(n=146/167)	1.2	1.1	1.0	1.3	1.0	1.0

※n=H26.3/H26.6

(単位:人)

訪問診療等を利用した入居者数	平成26年3月			平成26年6月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
全体(n=628/648)	19.3	29.2	9.0	19.5	30.6	9.0
サービス付き高齢者向け住宅(n=142/150)	11.2	14.3	8.0	12.2	14.6	9.0
有料老人ホーム(n=139/138)	28.1	37.6	18.0	28.7	41.0	17.5
養護老人ホーム(n=117/125)	35.3	38.6	29.0	35.3	39.8	31.0
軽費老人ホーム(n=68/73)	10.0	18.4	1.0	8.3	17.0	0.0
認知症高齢者グループホーム(n=151/152)	11.8	18.1	9.0	11.7	19.4	9.0

※n=H26.3/H26.6

集合住宅調査の結果②

<訪問診療の利用状況②(報告書p172)>

○ 集合住宅への、医療機関の延べ訪問回数の平均は、概ね同等又はやや増加していた。

(単位:回)

医療機関の延べ訪問回数	平成26年3月			平成26年6月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
サービス付き高齢者向け住宅 (n=134/143)	8.6	16.2	3.0	10.4	15.8	4.0
有料老人ホーム(n=137/137)	13.8	31.5	4.0	16.4	32.6	4.0
養護老人ホーム(n=125/128)	4.6	5.9	4.0	4.6	6.0	4.0
軽費老人ホーム(n=69/74)	1.9	4.4	1.0	1.7	4.4	0.0
認知症高齢者グループホーム (n=149/151)	5.5	10.4	2.0	6.6	11.0	2.0

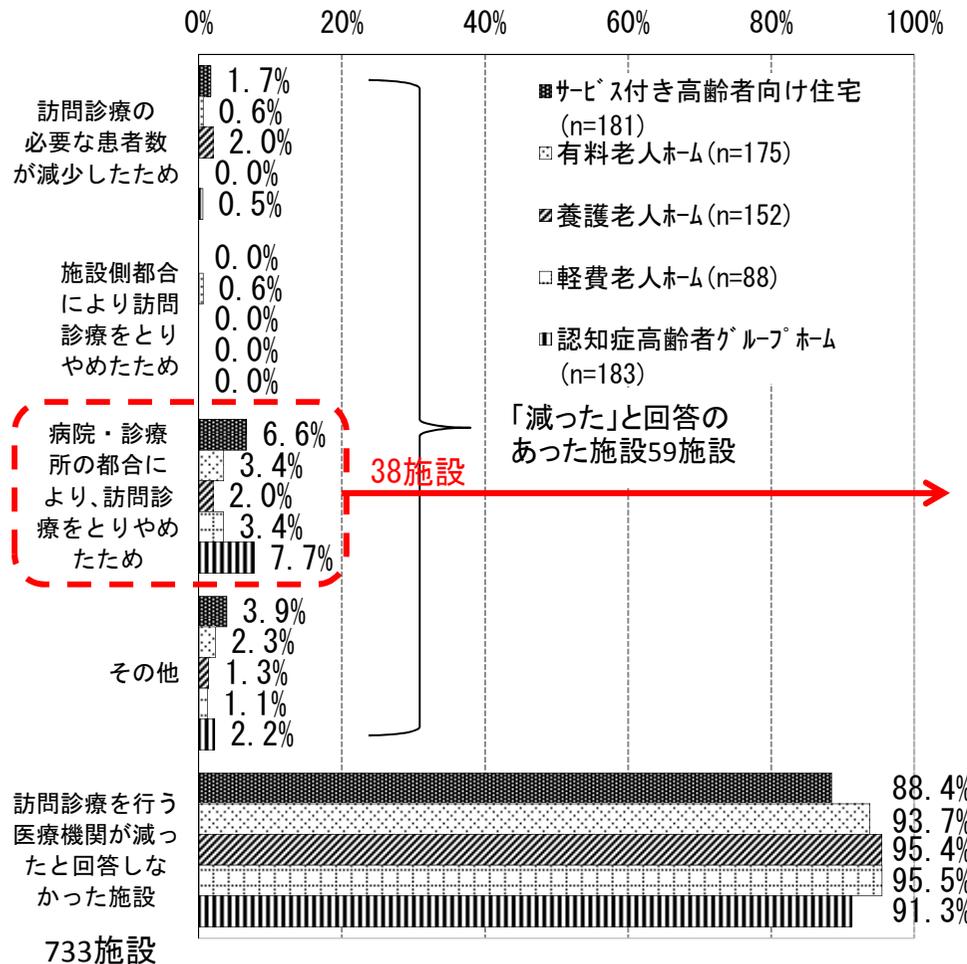
※n=H26.3/H26.6

集合住宅調査の結果③

<訪問診療の利用状況③(報告書p170、p171)>

- 訪問診療・往診を行っている病院・診療所が「減った」と回答した施設は792施設中59施設であった。
- 「病院・診療所の都合により、訪問診療をとりやめたため」に訪問診療・往診を行っている病院が減ったと回答した38施設のうち、「引受先が見つからないため都道府県等に相談したが目処が立っていない」と回答した施設は1施設であった。

訪問診療・往診を行っている病院・診療所が減った理由



訪問診療・往診を行っている病院・診療所が減った後、現在の状況(複数回答)

(「病院・診療所の都合により訪問診療をとりやめた」と回答した施設)

	他の訪問医療機関が継続的に診療を行っている	外来へ通院することで継続的な診療を行っている	訪問診療を実施する病院を探しており、一定程度の目処は立っている	引受先が見つからないため、都道府県等に相談することを考えている	引受先が見つからないため、都道府県等に相談したが目処が立っていない	その他	無回答
全体(n=38)	14	25	3	1	1	2	2
サービス付き高齢者向け住宅(n=12)	6	7	3	1	0	0	1
有料老人ホーム(n=6)	1	2	0	0	1	2	0
養護老人ホーム(n=3)	1	3	0	0	0	0	0
軽費老人ホーム(n=3)	1	3	0	0	0	0	0
認知症高齢者グループホーム(n=14)	5	10	0	0	0	0	1